

動物観察の道しるべ



那珂川町

那珂川町自然観察ガイドブック[動物編①]

ほ乳類・鳥類・は虫類・両生類の仲間たち

イノシシ

イノシシは那珂川町の里山では、最も人間社会とかかわりのあるほ乳類です。雑食性で何でも食べますが、新芽・樹皮・地下茎・根・地上に生える草(特にドングリ)などの植物性のものが主な食物で、ミズ・サワガニなどの水生動物性のものも食べます。鼻が良くきくので、農作物の根菜類やキノコなど掘り出したり、また収穫前の稲穂を牙を上手に使って食べます。これによって、山間部の農家にとっては大きな問題となっています。性格は温和で、警戒心はありますが危険を察知したり危害を加えられると、体当たりします。雄のイノシシは、雌のイノシシを追い回すことがありますので、大けがをすることがあります。雄は単独行動をし、雌は子イノシシを連れた集団で行動します。子イノシシはしま模様があり、イノシシと呼ぶ地方もあります。

中ノ島公園付近の川辺
に現れたイノシシ→



農作物を荒らすイノシシ↓



水田に入った痕跡 ↓



牙を使って
食べた跡



噛んだ跡→
(木の上部の傷)



体についたマダニ
などの寄生虫を取り
除くため、ヌタ場で
泥浴びをし、その泥
を落とすために体を
こすった跡が下部の
白い部分→

足 ↓



糞(塊状がばらけた状態)

↓



太ももについた
マダニ→

